

着任及び令和8年度のスタートにあたりご挨拶

兵庫県立飾磨工業高等学校のホームページをご覧くださいありがとうございます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援をいただき感謝申し上げます。

私は、4月1日付けで本校に着任しました、校長の 岩井 高士（いわい たかし）と申します。本校のさらなる発展に向け、強い決意をもって学校運営にあたってまいります。どうぞよろしく願いいたします。着任及び令和8年度のスタートにあたりご挨拶を申し上げます。



本校は昭和10年に飾磨町立兵庫県飾磨商業実務学校として設立され、昭和11年に兵庫県飾磨商業学校、昭和23年の学制改革により兵庫県立飾磨工業高等学校となり、今年で創立91年を迎える歴史と伝統ある工業高校です。また、平成15年には、柔軟な学びの機会を提供する、多部制（Ⅰ部・Ⅱ部・Ⅲ部）が開設され、全日制と多部制を併設した全国でも珍しい特色ある工業高校として発展し、地元兵庫はもとより全国の産業界で幅広く活躍する多くの人材を輩出してきました。設置学科は、全日制課程に「機械工学科」、「電気情報工学科」、「エネルギー環境工学科」、多部制に「基礎工学科」をそれぞれ設置しています。

本校は、長年にわたり地域産業を支える人材を育成してきた伝統ある工業高校です。しかし、社会や産業構造が大きく変化する今、これまでの延長線上にとどまるだけでは、その役割を果たし続けることはできません。このことを踏まえ、以下のことを基本に学校経営を進めていきます。

第一に、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出す教育の推進を図ります。知識や技能の習得にとどまらず、「自ら考え、課題を発見し、解決し、やり抜く力」を育てる教育を推進します。

第二に、地域や産業界との連携をこれまで以上に深化させます。企業・大学・地域とつながる実践的な学びを通して、社会に直結する力を身につけさせるとともに、本校の教育価値をより一層高めてまいります。

第三に、多様な学びを尊重する学校づくりを進めます。本校の全日制課程と多部制課程、それぞれの特長を活かしながら、生徒一人ひとりの状況や目標に応じた柔軟で質の高い教育を実現してまいります。

本校の校訓である「自主創造」「礼讓親和」「勤勉誠実」は、これからの時代においてこそ、その価値を発揮するものです。私はこの校訓を、単なる理念にとどめることなく、日々の教育活動の中で具体的に体現していきたいと考えております。工業教育の本質は、「ものづくり」を通して人を育てることにあります。ものづくりは、決して一度で完成するものではありません。失敗し、考え、工夫し、やり直す。その過程を経て、はじめて価値ある成果が生まれます。

人生もまた同じです。最初から「正しい選択」があるわけではありません。あるのは、自ら選んだ道を、努力と挑戦によって「正解にしていく姿勢」です。生徒が自分の歩みに誇りを持ち、「やり抜く力」を身につけること。それこそが、これからの社会で求められる人材像であると確信しています。

最後に、このホームページをとおして、本校について理解を深めていただくとともに、日々の生徒たちの頑張りを応援していただきますようお願いいたします。

令和8年4月1日

兵庫県立飾磨工業高等学校

校長 岩井 高士